

日本経済政策学会ニューズレター

No.28 2014

目 次

I 日本経済政策学会総会議事録

1 報告事項

- (1) 本部会務報告
- (2) 各部会報告
- (3) 各委員会報告
- (4) その他

2 協議事項

- (1) 学会役員の件
- (2) 会員状況
- (3) 2013 年度決算書
- (4) 2014 年度予算書
- (5) 名誉会員の推薦
- (6) 全国大会・国際会議の件
- (7) 2013 年度学会賞の件
- (8) その他

II 本部事務局からのお知らせ

I 日本経済政策学会総会議事録

日時： 2014年5月25日

場所： 神戸大学 出光佐三記念六甲台講堂

大会校 挨拶

第71回大会の開催校を代表して田中康秀委員長より挨拶があった。

総会議長の選出

総会議長に千田亮吉副会長を選出した。

1. 報告事項

(1) 本学会報告

(1-1) 会員状況 協議事項 (2-2) 会員状況を参照

(1-2) 学会ニューズレターNo. 27の発行

2013年10月28日(火) 付けで学会ニューズレターNo.27を発送した。

(1-3) 2013年度常務理事・幹事会

日時：2013年9月13日(金) 15:30~18:00

会場：青山学院大学 第一会議室

出席：出席者 31名 委任状提出者 16名 (定数 65名)

議事に先立ち、定足数の確認が行われた。中村会長から新任の挨拶があり、名古屋大学から青山学院大学に本部事務機能が完了したとの報告がされた。出席者から自己紹介があった。

1. 議題

A. 前回の議事録確認

前年度全国常務理事会・幹事会の議事録の確認が行われた。

B. 役員の承認について

中村会長から、会計監事、委員会委員、本部幹事、部会幹事、日本経済学会連合評議員の提案がされ、了承された。

中村会長から、国際交流委員会の任期を国際会議の開催時まで、学術賞選考委員会の任期を常務理事幹事会までに変更する提案がされ、了承された。

C. 全国大会開催について

次年度全国大会開催校・神戸大学の柳川先生から来年度第71回全国大会の進捗状況について報告があった。(参照：日本経済政策学会 第71回全国大会(神戸大学)進捗状況)

中村会長から、2015年度を国土館大学で実施、2016年度は地方部会で実施する予定であるとの報告がされ、地方部会へ協力要請がされた。

D. 国際会議開催について

国際交流委員会・委員長の林先生から札幌大学での国際会議の進捗状況について報告があり、カーネギーメロン大学のマッカラム教授と元日本銀行副総裁の岩田一政先生を招聘する予定であるとの報告があった。

国際会議開催校・札幌大学の飯田先生から、60本を超える応募を受けつけ、現在プログラムの確定および討論者の選定作業を実施中であるとの報告があった。また、学生用の宿泊施設を準備しているとの案内があった。

国際交流委員長の林先生から2014年度の国際会議開催への協力依頼がされた。

E. 情報委員会について

中村会長から情報委員会の開催状況について説明があった。

情報委員会・委員長の林先生から、第1回情報委員会の議事録が開示された。また、配布資料に基づき個人情報の保護方針について提案がなされ、了承された。

F. 学会活動の開催について

中村会長より、「企画委員会が中心となり、他委員会と連携することで、荒山前会長の政策学会運営ワーキングの成果を速やかに実施に移していきたい」との提案があり、了承された。

中村会長より、「学会予算のプライマリーバランスの改善を目指す必要があるため、財政再建ワーキング・グループを立ち上げたい」との提案があり、了承された。

中村会長より、「経済政策ジャーナル・IJEPSに掲載された論文の中で応募条件を満たすものも学会賞の対象とする変更を行いたい」との提案がされたが、フロアから、①現行の規約改正が必要である、②選考方法に関する見直しが必要となる、③学会賞の位置づけについても確認が必要であるとの指摘を受け、同提案についてはもう一度持ち帰って検討をすることとした。

G. その他

中村会長より、「次年度より、ニューズレターと国際会議案内の印刷・郵送を取りやめて、Web化してはどうか」との提案がなされたが、その後に各部長の意見を伺ったところ、「全てをWeb化することは現状では難しいのではないかと」の指摘を受けた。また、フロアから「会員把握のためにも、一定程度郵送をすることに意義もあるのではないかと」の指摘も受けた。「将来的にWebに移行することは必要であるものの、当面は郵送とWebを併用することが現実的である」との意見が多数を占めたため、同提案についてはもう一度持ち帰り、「どの様にWeb化を進めていくか」を検討することとした。

神戸大学の柳川先生より、「学会員と非学会員との間で国際会議の大会参加費を差別化して欲しい」との提案があった。

2. 報告事項

A. 本部事務局移転および業務の引き継ぎ

青山学院大学の西川先生より、本部事務局の運営状況について説明があった。

B. 学会名簿作成について

荒山前会長より、名簿の作成状況について説明がなされ、部会に名簿作成への協力依頼がなされた。

3. 第70回全国大会（東京大学）の開催報告

東京大学の前田先生より、開催報告がなされた。

4. 各部会報告

A) 関東部会

松本関東部会部会長より、部会スケジュールについて報告があった。

B) 中部部会

小林中部部会部会長より、部会スケジュールについて報告があった。

C) 関西部会

柳川関西部会部会長より、部会スケジュールについて報告があった。

D) 西日本部会

内山西日本部会部会長より、部会スケジュールについて報告があった。

5. 各委員会報告

国際交流委員会の林委員長より、IJEPS 7号の公刊、IJEPS 8号の編集状況について報告があり、編集委員長が前田先生へ交代したこと、副編集委員長が朴先生へ交代したことが告げられた。

大会プログラム研究・開発委員会の小澤委員長より、全国大会の準備状況について説明があった。

出版編集委員会の千田委員長より、経済政策ジャーナルの編集状況について報告があった。また、東京大学における加藤寛メモリアルセッションの内容を活字化し大会特集号に掲載する提案があり、了承された。

学会賞選考委員の清川委員長より、学会賞へ2点の応募があり、現在審査を実施中であるとの連絡があった。

6. その他

中村会長より、閉会の挨拶があった。

(1-4) 第12回国際会議報告

1. 日時 2013年10月26日(土) 10:00~17:50 (懇親会 18:00~20:00)

10月27日(日) 9:30~15:00

2. 会場 札幌大学 2号館 2~3階 リンデンホール

3. メインテーマ: Making Economic Policy "Smart": Rules for Global Sustainability

4. 第12回国際会議の概要ならびに提出資料

1) カンファレンス参加者総数: 183名 (詳細は以下のとおり)

参加者総数: 214名 外国人 49名 (招待者を含む)

[うち海外からの参加: 24名, 国内在住: 25名]

日本人 134名 (招待者を含む)

外国からの(24名)の国別参加者数:

台湾 12名 オーストラリア 3名 インド 3名 中国 1名 トルコ 1名

イラン 1名 アメリカ 1名 イギリス 1名 オランダ 1名

2) プログラム: Time Schedule and Program

3) 第12回国際会議会計収支: 「会計収支報告書」

4) その他資料: CD(Full Papers)

(2) 各部会報告

(2-1) 関東部会 2013年度 活動報告

常務理事・幹事会

日時: 2014年1月25日(土) 10:00~12:00

場所: 早稲田大学本部キャンパス 1号館 401室

議題

1) 第12回国際会議業務完了報告 了承。

2) 2015年度全国大会(第72回) 国士舘大学 進捗状況

永富隆司氏より、進捗状況に関し説明あり。了承。

3) 関東部会研究会：今後の運営方針

経済政策学会関東部会研究会について(矢尾板案)

検討課題

① 開催時期

② テーマ・内容（現状は、研究報告中心）

③ WEB 研究会との連動

④ 若手会員の獲得に向けて

① 開催時期

・通常は1月末。学年末試験、学位審査、口頭試問、入試などと重なる可能性あり。

他の時期：5月～6月：全国大会、11月～12月：国際会議

他の学会の全国大会のスケジュール、入試等の期間を考慮すると、3月頃が候補？

補完的な機能として、『WEB システム』を活用する。

② テーマ・内容

・従来は、研究報告で構成されている。

関東部会の研究会報告が、全国大会や国際会議に有機的に結びついていくような仕組みにしていく必要がある。

研究報告以外にも、経済政策関連の基調講演、実務家も交えたパネルディスカッションの可能性もあり得る。

政策的に話題となっている何らかのテーマで、複数名の先生に一定期間のコミットメントをお願いし、研究会で報告をお願いするような「プロジェクト」型の企画も検討？（『WEB システム』が活用できる）。

③ WEB 研究会との連動

・研究会に参加できない会員向けのサービスとして位置づけられる。

・いくつかの共通テーマの下に、研究交流なども行えるようにする。

・WEB 研究会で発表し、コメント等を受けて修正された論文については、working paper 等の業績に書けるような仕組みにする必要があるが、そのためには、WEB 研究会の編集委員会のような機能も必要になる。

④ 若手研究者の獲得

・業績となるような仕組みが必要？

・ジョブマッチング等の機能が必要？

・プレFD的な要素も提供？

4) 情報委員会活動報告&学会 HP に関する提案

昨年度の総会での決議を経て、現在学会ホームページの更新作業が行われており、その作業方針に関する説明があった。提案内容は以下の通りである。添付の HP 図案見本は省略。

日本経済政策学会 HP の基本デザイン（情報委員会案）

- (1) 学会のホームページは、一般人向けではなく、専門学問を専攻する研究者向けであるので余りシンプルすぎる必要もないし、ある程度の最小限の必要情報はトップページを見るだけで概観できるようにするのがよい。

(2) 特に日本経済学会、日本物理学会、日本医学会、アメリカ経済学会等のデザインが、すっきりしていて格調が高く、必要な最小限の情報をトップページで概観できる点で、学会HPとして良好と思われる。

(3) そこでトップページの上段フレームには、以下の配置とするのがよい。

日本経済政策学会とその英語名（検索に掛かるため画像ではなくテキスト文字とする）その右横にサイトポリシ、サイトマップ、問い合わせ、English などのボタンを配置。サブページでもこの上段フレームは表示される。

(4) トップページの下段は3列（カラム）とし、左縦列フレームには、以下のボタンを配置するのがよい。

学会概要、全国大会、国際会議、部会、出版物、学会賞、入会案内、会員情報システム、その他

(5) トップページの下段の右縦列フレームには、以下の図のボタンを配置するのが、宣伝のために効果的でしょう。

経済政策ジャーナル、IJEPS

(6) トップページの下段の中央列フレームには、お知らせを配置し、日本医学会のように要約だけを1~2行で書き、詳細はクリックして見るようにすると、シンプルで見やすくなる。

(7) サブページは、上段フレームにはトップページと同じ物を配置する。

下段は2列（カラム）とし、左縦列フレームだけをトップページと同じ物を維持する。

5) 名誉会員の推薦 推薦者なし。

6) その他

国際交流委員会林直嗣委員長より、2013年度の活動報告があったが、これは、総会事項なので、報告を聞くに止めた（内容省略）。

日本経済政策学会 関東部会 2013年度 研究発表会

日時：2013年1月25日 14:00-17:00

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス 1号館 401室

座長：前川俊一(明海大学)

発表1 (14:00-15:00)

タイトル：ミディアム(中視的)経済分析種の発見・開発とミディアム経済学・同政策及び政策学研究

発表者：鈴木博(北海商科大学)

討論者：永井四郎(麗澤大学)

発表2 (15:00-16:00)

タイトル：A NOTE ON IMPOSSIBILITY THEOREMS WITHOUT PARETO PRINCIPLE

発表者：DAN QIN(早稲田大学)

討論者：小島崇志(早稲田大学)

発表3 (16:00-17:00)

タイトル：帰朝報告：ヨーロッパにおける経済事情

発表者：永富隆司(国士館大学)

討論者：設定なし。

(松本 保美 記)

(2-2) 中部部会 2013年度部会 活動報告

1. 施設見学会

日 時：2013年11月30日(土) 12:30~17:00

見学先：中部電力(株)「浜岡原子力発電所」

2. 研究報告会

日 時：2013年12月1日(日)

会 場：静岡大学・人文社会科学部 E 棟 201 講義室

[午前の部] 座長 荒山裕行(名古屋大学)

研究報告① 論 題：Dynamic Optimal Income Taxation and the Roles of the Public Pension System and a Limited Times Benefit to Low-income Households

報告者：高松慶裕(静岡大学)

討論者：竹内信仁(愛知学院大学)

研究報告② 論 題：Current Stability v.s.Future Stability in the Economy with Civil Conflict

報告者：青木芳将(相山女学園大学)

討論者：村田慶(静岡大学)

[午後の部] 座長 酒井邦雄(愛知学院大学)

講 演 「論題：静岡県の経済について」

講演者：川勝平太(静岡県知事)

研究報告③ 論 題：欧州越境労働市場の制度的課題とドイツ公共職業安定所による
取り組みーオーバーライン国境地域の調査報告ー

報告者：鈴木健介(名古屋大学)・土井康裕(名古屋大学)

討論者：鶴田利恵(四日市大学)

研究報告④ 論 題：静岡県の産業構造に関するクラスター分析

報告者：牧野好洋(静岡産業大学)

討論者：土井康裕(名古屋大学)

3. 会員総会

日 時：2013年12月1日(日) 13:00~13:30

会 場：静岡大学・人文社会科学部 E 棟 201 講義室

4. 常務理事・理事・幹事会

1) 日時：2013年8月3日(土) 13:30~15:00

場所：名古屋学院大学 さかえサテライト

議題： ①2013年度中部地方大会(静岡大学)について

②その他

2) 日時：2013年10月5日(土) 13:30~15:00

場所：名古屋学院大学 さかえサテライト

議題： ①2013年度中部地方大会(静岡大学)について

②2014年度中部地方大会の開催校について

③その他

3) 日時：2013年12月1日(日) 12:15～13:00

場所：静岡大学・共通教育L棟117演習室

議題： ①2012年度決算の承認について
②2013年度決算の承認について
③2014年度予算(案)について
④総会議長について
⑤その他

(小林 甲一 記)

(2-3) 関西部会・2013年度部会 活動報告

1. 関西部会 2013年度研究大会

日時：2014年3月15日(土) 10:00～15:40

会場：岡山大学津島キャンパス文法経講義棟10番教室

運営委員長：張星源本部幹事(岡山大学)

今回の研究大会開催にあたっては、張星源常務理事はじめ岡山大学関係者に大変お世話になったこと
に対して、この場を借りてお礼申し上げる次第である。

当日の座長、報告者、報告論題、及び討論者は次の通りである。

座長：村上亨(追手門学院大学)

第1報告(10:05～11:05)「医療産業クラスターによる地域経済効果に関する研究 ― ク
ラスター政策の有効性について ―」

報告者：皿谷麻子(大阪市立大学大学院)

予定討論者：坂西明子(奈良県立大学)

第2報告(11:05～12:05)「中国における再販売価格維持行為の特徴と課題」

報告者：呉波(神戸大学大学院)

予定討論者：和田聡子(大阪学院大学)

座長：福重元嗣(大阪大学)

第3報告(13:30～14:30)「社会的企業推進政策の性格と課題」

報告者：明石芳彦(大阪市立大学)

予定討論者：鈴木純(神戸大学)

第4報告(14:30～15:30)「1990年代以降の雇用調整行動とその変化」

報告者：檜康子(追手門学院大学)

予定討論者：釣雅雄(岡山大学)

2. 関西部会見学会

日時：2014年3月14日(金) 12:55～16:30

プログラム：岡山県瀬戸内市メガソーラー

瀬戸内市の太陽光発電事業、メガソーラー計画について、事業説明や現地案内。瀬戸内市長が参加。
現在の国内最大規模である70メガワットを大幅に上回る230メガワットの発電能力(2018年完成
予定)

釣雅雄会員（岡山大学）はじめ岡山大学関係者に大変お世話になったことに対して、この場を借りてお礼申し上げる次第である。

14:00 事業説明・質疑応答＜ 瀬戸内市中央公民館＞

15:30 現地視察＜一本松展望台，錦海湾堤防＞

3. 常務理事・幹事会

日 時：2014年2月22日（土）午後3時00分～午後3時45分

場 所：神戸大学六甲台キャンパス第3学舎1階中会議室

議 題：

- (1) 議事録の確認について
- (2) 関西部会 2013 年度研究大会(岡山大学)について
- (3) 関西部会 2013 年度見学会について
- (4) 関西部会 2014 年度研究大会開催校について
- (5) 関西部会役員の追加・変更について
- (6) 関西部会オンライン・ワーキングペーパーについて
- (7) 第71回全国大会(神戸大学)について
- (8) その他

4. 常務理事・理事・幹事会

日 時：2014年3月15日（土）午後0時10分～午後1時20分（終了予定）

場 所：岡山大学文法経講義棟13番教室

議 題：

- (1) 議事録の確認
- (2) 関西部会 2013 年度研究大会(岡山大学)について
- (3) 関西部会 2013 年度見学会について
- (4) 関西部会 2014 年度研究大会開催校について
開催校 関西大学
運営委員長 廣田俊郎理事・部会幹事（関西大学）
- (5) 関西部会役員の追加・変更について
水野倫理会員（神戸大学）を部会幹事に推薦。
- (6) 2013 年度関西部会会計報告について
- (7) 関西部会オンライン・ワーキングペーパーについて
No.03(2013) 木下信・橋本悟「日本のガス産業における自由化が生産・費用効率性に与えた影響に関する実証分析」
- (8) 第71回全国大会(神戸大学)について
- (9) その他
部会の活性化の一助とするため、会員の関係する大学のシンポジウムや研究会等を後援したり、開催案内を Bcc メールを用いて会員に連絡したりすることとした。

(柳川 隆 記)

(2-4) 西日本部会 2013年度部会 活動報告

1. 第91回大会(春季)

開催日：平成25年4月20日(土) 13:00～

開催校：西南学院大学(大会運営委員長：相模裕一)

理事・幹事会および会員総会議題

- (1) 常務理事会報告
- (2) 平成24年度会計報告
- (3) 第92回大会(秋季)の当番校について
- (4) その他

研究会

【第一報告】座長 諸賀加奈(九州大学)

「貿易パターンと労働者の意思決定」

報告者 福岡比呂志(熊本学園大学大学院博士後期課程 指導教員：細江守紀)

討論者 佐藤秀樹(九州産業大学)

【第二報告】座長 佐々木 昇(福岡大学)

「大学教員のアウトリーチ活動と地域連携—北陸地域における大学の事例—」

報告者 小林俊哉(九州大学)

討論者 小柳津英知(富山大学)

【第三報告】座長 塚田広人(山口大学)

「医療機関の競争と連携：重複検査が存在するケース」

報告者 三浦 功(九州大学)

討論者 村田省三(長崎大学)

会員総会

2. 第92回大会(秋季)

開催日：平成25年11月3日(日) 13:00～

開催校：琉球大学(大会運営委員長：石田一之)

理事・幹事会および会員総会議題

- (1) 常務理事会報告
- (2) 第93回大会(春季)の当番校について
- (3) その他

研究会

【第一報告】座長 宮平栄治(名桜大学)

「日本の地方自治体における環境・エネルギー政策の動向—成果を挙げた事業を中心に—」

報告者 諸賀加奈・永田晃也・小林俊哉・長谷川光一・栗山康孝・大野正久(九州大学)

討論者 井田貴志(熊本県立大学)

【第二報告】座長 塚田広人(山口大学)

「世界経済危機以降の市場経済システムに見られる新しい方向性」

報告者 石田一之（琉球大学）

討論者 古河幹夫（長崎県立大学）

【第三報告】 座長 村田省三（長崎大学）

「アシュリアにおける工場火災と契約による予防について」

報告者 佐藤秀樹（九州産業大学）

討論者 三浦 功（九州大学）

【第四報告】 座長 宮城和宏（沖縄国際大学）

「平成の大合併後の市町村における定員管理の動向について」

報告者 綱 辰幸（長崎県立大学）

討論者 仲間瑞樹（山口大学）

会員総会

懇 親 会

（文責：内山 敏典）

（3）各委員会報告

（3-1）組織委員会報告

2014年5月24・25日

1. 組織委員会組織（2013～2015年度）

委員長 吉井 昌彦（神戸大学） 副委員長 宮本 昌典（福岡大学）

事務局長 鳥居 昭夫（中央大学） 事務局長 角本 伸晃（相山女学園大学）

2. 会員名簿の発行

2013年7～8月に行われた名簿更新のための調査に基づき、11月に日本経済政策学会
会員名簿を発行した。

3. 今年度の活動方針

2015年秋～2016年冬にかけて実施される2016～18年度役員選挙のための準備を進め
る。

このため、役員選出内規および会務運営細則に関する覚書にはない「複数機関で推薦
する理事」の取り扱いを明確にするとともに、「複数で理事を推薦いただく機関」の確
定時期を明確にする。

（文責：組織委員会 委員長 吉井昌彦）

（3-2）出版編集委員会 2013年度活動報告

2014年5月15日

1. 経済政策ジャーナルの刊行

第11巻1号（査読論文号）研究論文2本、特別寄稿1本、書評1本

平成25年4月1日刊行

第12巻2号（学会特集号）学会賞奨励賞論文、研究論文11本、共通論題3本、大会記事

平成25年9月20日刊行

2. 編集委員会査読の状況（平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月まで）

査読論文号（第 12 巻 1 号）

投稿総数	6 本
新規投稿	6 本
再投稿	0 本
再々投稿	0 本

査読結果返却分 2 本（残り 4 本は平成 26 年 3 月 31 日現在査読中）

新規投稿論文 6 本 第 1 次査読結果 A:0 本、B:1 本、C:0 本、D:1 本

学会特集号（第 12 巻 2 号）

投稿総数	28 本
掲載可	21 本
掲載不可	7 本

3. 編集委員会

平成 25 年 5 月 26 日 東京大学

- ① 論文の投稿状況
- ② 書評に関して
- ③ 学会賞について

4. その他

（文責：出版編集委員会 委員長 千田亮吉）

（3-3）国際交流委員会 2013-2014 年度上半期 活動報告 2014 年 5 月 17 日

1. 国際会議の準備と開催

(1) JEPA2014 国際会議

2013 年 10 月 JEPA2013 国際会議を 11 月 8～9 日に明治大学で開催することを
プログラム委員会です承

2014 年 1 月 JEPA2014 国際会議（於明治大学）のプログラム委員会の組織編成

2014 年 1 月 大会 HP の起ち上げ

2014 年 2 月 1 日 プログラム委員長を飯田隆雄氏、副委員長を林直嗣氏に交代
Call for Papers の公表と Abstract 募集開始

2014 年 1 月 関東部会常務理事・理事会で明治大学での開催を了承

2014 年 5 月 Abstract 締切を 5 月 31 日から 7 月 31 日に延長予定

Full Paper 締切を 6 月 30 日から 8 月 15 日に延長予定

2. 新料金体系

従来からの早期登録割引、院生割引に加えて、会員割引の導入の希望があったので、これを考慮して以下のように決定した。

参加登録料 7,000 円（早期登録割引 1,000 円、会員割引 1,000 円、院生割引
1,000 円併用割引可、登録期限後に依頼する討論者や座長には早期割引を適用）
懇親会費 3,000 円（別途に徴収）

2 IJEPS 編集委員会の編成と活動

① IJEPS8 号の編集と公刊

2013年2月	IJEPS8号編集委員会の編成
2013年1月	Submission 締切を2月末まで延長、19本の応募
2013年3月	査読依頼開始
2013年8月	編集委員長を前田章氏、副編集委員長を朴哲洙氏に交代
2014年2月まで	査読を完了し編集委員会にて9本の掲載を了承決定
2014年3月	英文校正開始
2014年5月	公刊

② IJEPS9 号の編集と公刊

2014年1月	IJEPS9号編集委員会の編成
2014年1月	Submission 締切を2月末まで延長、15本の応募
2014年3月	査読依頼開始

文責：国際交流委員長	林 直嗣
国際会議プログラム委員長	飯田 隆雄
IJEPS 編集委員長	前田 章

(3-4) 大会プログラム研究・開発委員会活動報告

2014年5月23日

日時：2014年（平成26）年3月7日（金） 午後1時～5時

場所：神戸大学 六甲台キャンパス 第3学舎1階 経済学研究科中会議室

出席者（あいうえお順、敬称略）：

内山敏典、小澤太郎（大会プログラム委員長）、酒井邦雄、柴田怜、瀬野隆、
田中康秀（大会運営委員長）、土井教之、永富隆司、前田章、柳川隆、勇上和史、吉井昌彦

欠席者（あいうえお順、敬称略）：

角本伸晃、小林甲一、駿河輝和、田中秀幸、千田亮吉、林直嗣、松永宣明、松本保美、
宮崎智視、吉田良生

（注）今回の大会プログラム委員会の開催経費については、大会プログラム研究・開発委員会ですべて賄う事が出来ない為、例年通り、開催校（神戸大学）の大会経費から支出をお願いし、プール予算形式で賄った。

1. 進捗状況と大会プログラム原案について（運営委員会報告）

（1）大会テーマ：『グローバル経済下における日本の成長戦略』

- ① 共通論題セッション：3つの講演・討論の後、パネルディスカッション
- ② 特別セッション：2つの講演（使用言語 英語）
- ③ 自由論題セッション

（2）報告申込件数

自由論題 31件（企画セッションの申し込みはなし）

（3）その他

①非会員の取り扱い：受付無料

②大会論文集：CD-ROM

③大会 HP 等

2. セッションごとの座長、討論者の選定

各候補者に対して、大会プログラム委員で手分けをして依頼する事となったが、候補者が尽きた場合は、必要に応じて適宜プログラム委員間で相談しつつも、依頼者の裁量を認めた。

3. 第72回全国大会（国士舘大学）テーマについて（懇談事項）

（文責：全国大会プログラム委員会 委員長 小澤太郎）

（3-5）情報委員会 2014年度上期 活動報告（案）

2014年5月6日

1. 学会ホームページの改訂について

2013年夏以降、松本茂副委員長や矢尾板俊平委員を中心に、学会ホームページのデザインや設計を改訂する案を順次検討し、最新のグローバル・ナビゲーションの設計方針に基づいて基本デザイン案を審議・決定し、SAI社と制作依頼契約をした。

基本設計は5月上旬に完成し、SAI社作成のメンテナンス・マニュアルに基づいて、各項目の記入や改訂、メンテナンスなどは情報委員会が逐次行う。

2. 学会ホームページ・サーバーの移行について

学会ホームページについては、新たに jepa.jp のドメインを取得し、管理や更新がしやすいように、新たなサーバーに移行することに決定した。

会員情報検索システムや論文投稿システムなどは、特有なソフトウェアを利用しているので、従来通りのサーバーに置くものとする。

神隆行教授が取得に尽力された jepaweb.org のドメインについては、今後の利用可能性を鑑みて、学会本部に管理を移行する。

3. 個人情報の適切な利用

前回理事会・総会でご了承いただいた個人情報保護方針の「2. 会員の個人情報を適正に取得し、全国大会・国際会議・地方部会・本部からの連絡など、学会活動の適正な利用目的の範囲内において、それを使用致します。」に基づいて、全国大会、国際会議等の会員向け連絡においては、会員のメールアドレスを適切に利用することを開始した。

（文責：情報委員会 委員長 林直嗣）

（4）その他

財政再建ワーキング・グループ（第一回議事要録）

2014年3月29日

参加者： 中村まづる会長，土井教之副会長，千田亮吉副会長，前川俊一常務理事，小澤太郎理事，西川雅史幹事

欠席者： 福重元嗣常務理事，川崎一泰幹事

A: 滞納者の管理が重要。具体的には、雑誌などの送付は2年以上の滞納者には行わない。また、2年以上の滞納者が過年度の支払を行ったとしても、過年度の冊子に対応しなくても良いのでは。3年以上の滞納者の自然退会処理を進めるべき。

業者への外注は、滞納者への対応が一定のルールに従って裁量性を排除して行われる事を保証するメリットがあるのではないか。3年で自然退会というルールの明示化。

=>基本的には会費納付の規律づけ

B: 国際会議の報告が前提で、非会員も投稿可能な IJEPS は、英文校正の費用がかかるなど、必ずしも会員への奉仕になっていない。

次回(明治大学)では、国際会議の参加費を会員と非会員でわかる試みを行う。IJEPS は、「国際会議の記録」であって、投稿オープンな通常の「雑誌」ではない(いわゆるプロシーディング的なもの)が、国内の大学院生などの需要もある。

C: 会費の引き上げはあり得るのか? 日経学会のサービスと比べると引き上げは難しい。(一万円は動かせない)。

A: お弁当代と出張旅費を自費にさせていただくことで、大会開催校への支払額を10万円減額し、200万円とする事が可能かどうか検討の余地あり。

B: 部会費もお弁当代に充当しない。

A: 全国大会開催時の「常務理事会幹事会夕食お弁当代」は自費とする事も検討の余地あり(本部支払分)

B: 『経済政策ジャーナル』掲載の有料化(20本×2万円)は検討の価値がある。

C: 全国大会の参加費を1000円程度とる。(300人×1000人で、30万円)。

A: もし会費を取るならば、人を引きつけるためのプログラム作りを考えなくてはならない。すなわち、プログラム研究・開発委員会の戦略的なプログラム作りをよりいっそう進める。

B: 『経済政策ジャーナル』刊行費についても、削減可能性を検討する。

A: ニュースレターの電子化(5万円程度は削減可能では?)

B: IJEPS の掲載料有料化(10本×3万円)は検討価値がある。

D: 土井: 新規加入者を増やすための取組を継続する。公務員(霞ヶ関)・実務家も潜在的な会員のターゲットであり、彼らが積極的に参加できるよう、たとえばセッションを用意するのも一案。

A: 朝一、若手育成用のセッションを設けるのも良いのでは。

B: 若手のポスターセッションも可能性がある。

(文責: 土井教之)

2. 協議事項

(1) 学会役員の件

名誉会員・役員

歴代会長

山中篤太郎 (代表 理事)	加藤 寛 (初代 会長)	新野幸次郎 (第二代会長)
藤井 隆 (第三代会長)	柏崎利之輔 (第四代会長)	野尻 武敏 (第五代会長)
植草 益 (第六代会長)	横井 弘美 (第七代会長)	横山 彰 (第八代会長)
丸谷 冷史 (第九代会長)	松本 保美 (第十代会長)	荒山 裕行 (第十一代会長)

名誉会員

植草 益	越後 和典	尾上 久雄	五井 一雄	小西 唯雄
清水 嘉治	新庄 浩二	杉野 元亮	鈴木多加史	施 昭雄
新野幸次郎	西野 萬里	野尻 武敏	野田 稔	野間 俊威
藤井 隆	松浦 茂治	眞継 隆	丸尾 直美	丸谷 冷史
横井 弘美	吉田徳三郎			

磯辺 喜一(昭 62 逝去)	板垣 與一(平 15 逝去)	伊東 岱吉(平 8 逝去)
伊東 正則(平 18 逝去)	梅田 政勝(昭 62 逝去)	近江谷幸一(平 17 逝去)
柏崎利之輔(平 22 逝去)	加藤 壽延(平 15 逝去)	加藤 寛(平 25 逝去)
気賀 健三(平 13 逝去)	熊谷 尚夫(平 9 逝去)	小島 清(平 21 逝去)
小松 雅雄(平 22 逝去)	佐藤 芳雄(平 10 逝去)	田村 泰夫(平 9 逝去)
中村秀一郎(平 19 逝去)	原 豊(平 25 逝去)	藤井 茂(平 12 逝去)
藤田 敬三(昭 60 逝去)	松尾 弘(平 7 逝去)	宮城 辰男(平 15 逝去)
本吉 敬治(平 21 逝去)		

会 長

中村 まづる

副会長

内山 敏典 酒井 邦雄 千田 亮吉 土井 教之 林 直嗣

地方部会代表

関東部会 松本 保美(早稲田大)
中部部会 小林 甲一(名古屋学院大)
関西部会 柳川 隆(神戸大)
西日本部会 内山 敏典(九州産業大)

常務理事

(50音順)

[関東部会]

川野辺 裕幸 (東海大学)	駒村 康平 (慶應義塾大学)	武田 巧 (明治大学)
谷口 洋志 (中央大学)	千田 亮吉 (明治大学)	中村 文隆 (明治大学)
中村 まづる (青山学院大学)	林 直嗣 (法政大学)	前川 俊一 (明海大学)
松原 聡 (東洋大学)	松本 保美 (早稲田大学)	横山 彰 (中央大学)

(計 12名)

[中部部会]

荒山 裕行 (名古屋大学)	小林 甲一 (名古屋学院大学)	酒井 邦雄 (愛知学院大学)
---------------	-----------------	----------------

(計 3名)

[関西部会]

明石 芳彦 (大阪市立大学)	清川 義友 (同志社大学)	佐竹 光彦 (同志社大学)
田中 康秀 (神戸大学)	土井 教之 (関西学院大学)	福重 元嗣 (大阪大学)
柳川 隆 (神戸大学)		

(計 7名)

[西日本部会]

今泉 博国 (福岡大学)	内山 敏典 (九州産業大学)	塚田 広人 (山口大学)
--------------	----------------	--------------

(計 3名)

(合計 25名)

理事

(50音順)

[関東部会]

安藤 潤 (新潟国際情報大学)	飯田 隆雄 (札幌大学)	石山 嘉英 (千葉商科大学)
和泉 徹彦 (嘉悦大学)	井手 秀樹 (慶應義塾大学)	今村 肇 (東洋大学)
植村 利男 (亜細亜大学)	大岩雄次郎 (東京国際大学)	小澤 太郎 (慶應義塾大学)
上沼 正明 (早稲田大学)	菊地 均 (北海商科大学)	岸 真清 (中央大学)
権丈英子 (亜細亜大学)	小崎 敏男 (東海大学)	小柴 徹修 (東北学院大学)
駒村 康平 (慶應義塾大学)	今野 昌信 (高崎経済大学)	坂井 吉良 (日本大学)
佐藤 晴彦 (平成国際大学)	末永 啓一郎 (城西大学)	鈴木 伸枝 (駒澤大学)
瀬野 隆 (国土舘大学)	田中 則仁 (神奈川大学)	田中 秀幸 (東京大学)
田中 廣滋 (中央大学)	玉城 逸彦 (城西大学)	塚原 康博 (明治大学)
鳥飼 行博 (東海大学)	中島 正人 (大東文化大学)	中野 守 (中央大学)
野田 浩二 (東京経済大学)	羽田 亨 (関東学園大学)	原田 博夫 (専修大学)
藤永 修一 (明治大学)	藤本 訓利 (日本大学)	洞口 治夫 (法政大学)
堀 潔 (桜美林大学)	前川 俊一 (明海大学)	益田 安良 (東洋大学)

松波 淳也 (法政大学) 松本 和幸 (立教大学) 松本 茂 (青山学院大学)
村松 幹二 (駒澤大学) 森崎 初男 (関東学院大学) 安田 武彦 (日本大学)
横山 将義 (早稲田大学)

(計 46名)

[中部部会]

足立 文彦 (金城学院大学) 岡 良浩 (四日市大学) 木船 久雄 (名古屋学院大学)
竹内 信仁 (愛知学院大学) 土井 康裕 (名古屋大学) 中山 徳良 (名古屋市立大学)
畠平 徹 (岐阜聖徳学園大学) 前田 隆 (金沢大学) 水田 健一 (名古屋学院大学)
山田 正次 (南山大学) 山下 隆之 (静岡大学) 吉田 雅彦 (愛知学院大学)
吉田 良生 (椙山女学園大学) 渡辺 俊三 (名城大学) 渡辺 悌爾 (三重大学)

(計 15名)

[関西部会]

秋岡 弘紀 (関西大学) 上田 良文 (広島大学) 内山 隆夫 (京都学園大学)
神 隆行 (大阪学院大学) 喜田 栄次郎 (岡山商科大学) 北川 雅章 (同志社大学)
衣笠 達夫 (追手門学院大学) 後藤 富士男 (京都産業大学) 金野 和弘 (島根県立大学)
坂西 明子 (奈良県立大学) 佐々木 雅幸 (大阪市立大学) 佐竹 隆幸 (兵庫県立大学)
菅 準一 (尾道市立大学) 宋 仁守 (大阪経済大学) 竹歳 一紀 (桃山学院大学)
竹廣 良司 (同志社大学) 柘植 隆宏 (甲南大学) 寺本 浩昭 (広島修道大学)
豊山 宗洋 (大阪商業大学) 仲上 健一 (立命館大学) 中澤 正彦 (京都大学)
永合 位行 (神戸大学) 南波 浩史 (徳島文理大学) 信吉 史明 (大阪産業大学)
野村 宗訓 (関西学院大学) 林 宰司 (滋賀県立大学) 伴 ひかり (神戸学院大学)
平本 賢了 (広島経済大学) 廣田 俊郎 (関西大学) 福重 元嗣 (大阪大学)
松水 征夫 (広島経済大学) 宮田由紀夫 (関西学院大学) 森川 浩一郎 (近畿大学)
吉井 昌彦 (神戸大学) 渡邊 真治 (大阪府立大学)

(計 35名)

[西日本部会]

秋山 優 (九州産業大学) 石田 一之 (琉球大学) 市川 芳郎 (日本文理大学)
牛房 義明 (北九州市立大学) 狩野 秀之 (宮崎大学) 衣川 恵 (鹿児島国際大学)
相模 裕一 (西南学院大学) 佐藤 秀樹 (九州産業大学) 仲間 瑞樹 (山口大学)
仁部 新一 (九州共立大学) 朴 哲洙 (熊本学園大学) 本田 廣實 (日本経済大学)
三浦 功 (九州大学) 宮城 和宏 (沖縄国際大学) 宮平 栄治 (名桜大学)
宮本 昌典 (福岡大学) 村田 省三 (長崎大学) 矢野 生子 (長崎県立大学)

(計 18名)

(合計 114名)

部会幹事

(50音順)

[関東部会]

釜賀 浩平 (上智大学)
千年 篤 (東京農工大学)
林 正義 (東京大学)
村松 幹二 (駒澤大学)

芹澤 高斉 (淑徳大学)
中澤 克佳 (東洋大学)
藤永 修一 (明治大学)
矢尾板 俊平 (淑徳大学)

瀧澤 弘和 (中央大学)
西川 雅史 (青山学院大学)
宮下 量久 (PHP 研究所)

(計 11名)

[中部部会]

大石 邦弘 (名古屋学院大学)
水野 英雄 (椙山女学園大学)

鶴田 利恵 (四日市大学)
渡邊 聡 (名古屋大学)

野村 友和 (愛知学院大学)

(計 5名)

[関西部会]

上田 雅弘 (同志社大学)
野北 晴子 (広島経済大学)
廣田 俊郎 (関西大学)
村上 礼子 (近畿大学)

内山 隆夫 (京都学園大学)
朴 勝俊 (関西学院大学)
松岡 憲司 (龍谷大学)

小林 伸生 (関西学院大学)
伴 ひかり (神戸学院大学)
水野 倫理 (神戸大学)

(計 10名)

[西日本部会]

佐々木 昇 (福岡大学)
宗像 優 (九州産業大)

佐々木 正廣 (日本経済大学)
諸賀 加奈 (九州大学)

仁部 新一 (九州共立大学)

(計 5名)

(合計 31名)

(2) 会員状況

2014年5月23日現在

		A	B	C	D	E	計
		関東	中部	関西	西日本	海外・その他	
前年度	個人会員	508	126	293	111	15	1053
	団体会員	2	0	0	0	0	2
	賛助会員	0	0	0	0	0	0
	計	510	126	293	111	15	1055
現会員	個人会員	485	119	275	106	15	1000
	団体会員	2	0	0	0	0	2
	賛助会員	0	0	0	0	0	0
	計	487	119	275	106	15	1002
新会員	個人会員	16	4	5	7	1	33
	団体会員	0	0	0	0	0	0
	賛助会員	0	0	0	0	0	0
	計	16	4	5	7	1	33
復活会員	個人会員	0	0	0	0	0	0
	団体会員	0	0	0	0	0	0
	賛助会員	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0
総計		503	123	280	113	16	1035

会員異動

① 訃報(届出順)

1	池田 眞治	愛知学院大学	2	原 豊	青山学院大学
3	伊藤 幸雄	大阪経済大学	4	小林 好宏	はまなす財団
5	市川 浩平	関西大学			(以上 5名)

② 退会者(届出順) *は学生会員

1	石井 晴夫	東洋大学	2	田代 充代	千葉商科大学
3	船津 英紀	早稲田大学	4	権丈 善一	慶應義塾大学
5	箱田 昌平	追手門学院大学	6	高梨 和紘	慶應義塾大学/帝京大学
7	中尾 久	作新学院大学	8	吉岡 祐次	青山学院大学
9	林 正寿	早稲田大学	10	青野 勝広	松山短期大学
11	荻田 誠一	名古屋経済大学	12	宍戸 駿太郎	日米・世界IT [®] 研究所
13	鴻池 俊憲	近畿大学	14	神尾 繁	鈴鹿医療科学大学
15	藤川 哲史	なし	16	戸田 信正	同朋大学
17	柿野 欽吾	京都産業大学	18	川北 隆雄	東京新聞
19	義之 清規	なし	20	三輪 俊和	健和看護学院
21	品田 直樹	日本政策投資銀行設備投資研究所	22	山本 美佳子	大阪市立南高校
23	萩原 貞暁	(社)鹿児島県自動車整備振興会	24	三十木 健	大阪学院大学
25	渡辺 茂	大阪府立大学	26	野村 紘彦	大阪学院大学
27	新井 光吉	埼玉大学	28	日隈 健壬	広島修道大学
29	小槻 直史	近畿大学	30	水谷 研治	東京福祉大学
31	滝川 敏明	関西大学	32	前野 富士生	阪南大学
33	西原 鷹一	広島大学大学院 *	34	太田 和博	専修大学
35	野方 宏	静岡大学	36	二宮 正司	大阪経済大学
37	田淵 義英	福島工業高等専門学校	38	津田 直則	桃山学院大学
39	上山 信一	慶應義塾大学	40	皆川 正	東海学園大学
41	谷本 一志	北海道東海大学	42	西野 義彦	明星大学
43	矢坂 雅充	東京大学	44	吉野 俊夫	山口大学大学院*
45	藤森 克彦	みずほ情報総研㈱	46	甘利 憲一	実践女子短期大学

(以上 46名)

③ 自然退会

なし

④ 復活会員

なし

⑤ 所属・部会・変更・訂正 (50音順) その1

	名前	旧所属	新所属	旧	新部会	
あ	青木 芳将	椋山女学園大学	→ 立命館大学	B	→ C	
	相田 利雄	法政大学	→ なし	A	→ A	
	井上 武	日本貿易振興機構	→ 南山大学	A	→ B	
		アジア経済研究所				
	大石 隆介	University of Essex Business School*	→ (株)ミントス 明海大学	E	→ A	
	大島 卓	城西大学	→ 城西国際大学	A	→ A	
	大槻 智彦	広島文化学園大学	→ 広島修道大学 大学院*	C	→ C	
	大西 秀典	尾道大学	→ 尾道市立大学	C	→ C	
	大野 正久	九州大学	→ 熊本大学	D	→ D	
	大森 達也	三重中京大学	→ 中京大学	B	→ B	
	岡崎 哲郎	千葉商科大学	→ 拓殖大学	A	→ A	
	岡田 修一	神戸大学大学院/西宮市	→ 西宮市役所	C	→ C	
		役所				
	か	春日 教測	近畿大学	→ 甲南大学	C	→ C
勝木 太一		岐阜聖徳学園大学	→ 尚美学園大学	B	→ A	
金田 良治		アジア政治経済研究所	→ なし	C	→ C	
北井 義久		伊藤忠商事(株)	→ 日鉄住金総研(株)	A	→ A	
藏田 幸三		東洋大学 大学院*	→ 地方自治体公民連携研究財団	A	→ A	
葛西 正裕		愛知学院大学 商学部	→ 愛知学院大学 経済学部	B	→ B	
久保 広正		神戸大学	→ 摂南大学	C	→ C	
桑名 謹三		東北公益文科大学	→ 関西大学	A	→ C	
河野 憲嗣		(社)ソーシャル・サイエンス・ラボ	→ 芝浦工業大学	C	→ A	
河野 敏鑑		(株)富士通総研経済研究所	→ 専修大学	A	→ A	
小島 崇志		早稲田大学 大学院*	→ 早稲田大学 政治経済学術院	A	→ A	
小島 泰友		東京農業大学	→ ミズーリ大学コロンビア校	A	→ E	
巨勢 欣一郎		富士ソフト(株)	→ 河内屋新兵衛商店(株)	C	→ C	
小林 和馬		中央大学 大学院*	→ 中央大学 経済学部	A	→ A	
小林 庸平		経済産業研究所	→ 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株)	A	→ A	
さ		迫 一光	ノースアジア大学	→ 高千穂大学	A	→ A
		皿谷 麻子	大阪市立大学 大学院*	→ 早稲田大学 大学院*	C	→ A
	嶋 恵一		弘前大学	→ 三重大学	A	→ B
	杉田 伸樹	内閣府 経済社会総合研究 所	→ 法政大学政策創造研究科	A	→ A	
	須田 茂夫	警視庁	→ なし	A	→ A	
	芹澤 高斉	三重中京大学	→ 淑徳大学	B	→ A	
	曾 黎	大阪府立産業開発研究所	→ 大阪産業経済リサーチセンター	C	→ C	
		関西大学				
	た	竹村 敏彦	ソシオネットワーク戦略研究機構	→ 佐賀大学	C	→ D
		田中 健太	東北大学 *	→ 武蔵大学	A	→ A
加藤 秀弥		名古屋経済大学	→ 龍谷大学	B	→ C	
田渡 雅敏		もみじコンサルティング	→ もみじ銀行	C	→ C	
		(株)				
チヨウドリ・ マハブ・ブル・アロム		長崎外語大学	→ 福岡女子大学	D	→ D	
な		中村 光毅	中央大学 経済研究所	→ なし	A	→ A
	新倉 博明	慶応義塾大学	→ ソフトバンクモバイル(株)	A	→ A	
	西 一弘	中央大学 大学院*	→ 幸福の科学学園	A	→ A	

		(大学設立準備室)				
	野崎 華世	慶應義塾大学 パネラー・設計・解析センター	→ 一橋大学 経済研究所 (日本学術振興会)	A	→	A
	野田 英雄	山形大学	→ 東京理科大学	A	→	A
は	萩原 史朗	大阪経済大学	→ 神戸学院大学	C	→	C
	日隈 信夫	東京福祉大学	→ 中央学院大学/日本大学	A	→	A
	平賀 一希	慶應義塾大学 大学院 *	→ 東海大学	A	→	A
	広羽 孝清	愛知産業大学短期大学	→ なし	B	→	B
	舟島 義人	青山学院大学	→ 東北学院大学	A	→	A
	蓬莱 洋一	兵庫県立大学 大学院 *	→ 北播磨総合医療センター	C	→	C
	外園 智史	九州大学	→ 九州産業大学	D	→	D
	布袋 正樹	財務総合政策研究所	→ 関西国際大学	A	→	C
	本間 聡	九州産業大学	→ 東海大学	D	→	A
ま	松前 龍宣	東京工業大学	→ 内閣府経済社会総合研究所	A		A
	丸谷 洽史	京都産業大学	→ 神戸大学	C	→	C
	三浦 一輝	法政大学 大学院 *	→ 常葉大学	A	→	B
	水野 倫理	長崎県立大学	→ 神戸大学	D	→	C
	溝淵 真弓	神戸大学 大学院 *	→ 国際航業(株)	C	→	C
	三野 耕治	酪農学園大学/日本飼料 工業会	→ 国際農林業協働協会	A	→	A
	森 由美子	関東学園大学	→ 東海大学	A	→	A
	森田 圭亮	京都学園大学	→ 神奈川大学	C	→	A
や	矢口 裕一	慶応義塾大学 *	→ 中央大学 *	A	→	A
	山田 建治	椙山女学園大学	→ なし	B	→	B
	山田 誠	なし	→ 鹿児島大学 名誉教授	D	→	D
	山本 匡毅	(財)機会振興協会研究所	→ 山形大学	A	→	A
ら	任 琳	桃山学院大学大学院 *	→ 桃山学院大学	C	→	C
わ	和田 耕治	嘉悦大学	→ 日本大学	A	→	A
	渡部 和男	外務省 在パラグアイ 日本国大使館	→ 外務省 在コロンビア日本大使館	E	→	E
	渡邊 聡	名古屋大学	→ 鈴鹿国際大学	B	→	B

⑥ 平成 26 年度新会員

名前	所属	推薦者	部会
松本 守	北九州市立大学	後藤 孝夫/加藤 一誠	D
岡村 周実	ロンドン大学*	大野 泰資/小林 庸平	E
望陀 英美子	城西大学	中村 文隆/武田 巧	A
葉山 幸嗣	和光大学	中村 文隆/武田 巧	A
野村 茂治	大阪大学	飯田 隆雄/千葉 隆生	C
小林 慶一郎	慶応義塾大学	中村 慎助/中村 まづる	A
鈴木 健介	名古屋大学 大学院*	荒山 裕行/土井 康裕	B
下田 真也	九州産業大学	内山 敏典/佐藤 秀樹	D
大西 遼	慶應義塾大学 大学院*	小澤 太郎/和泉 徹彦	A
末永 統大	長崎大学 大学院*	村田 省三/宍倉 学	D
勇上 和史	神戸大学 大学院	柳川 隆/田中 康秀	C
呉 波	神戸大学 大学院*	柳川 隆/田中 康秀	C
長谷川 雄哉	神戸大学 大学院*	柳川 隆/田中 康秀	C
土屋 翔	神奈川大学 大学院*	中村 まづる/田中 則仁	A
磯部 昌吾	財務総合政策研究所	三好 向洋/大野 太郎	A
米田 康隆	財務総合政策研究所	三好 向洋/大野 太郎	A
段 潤	東京大学 大学院*	田中 秀幸/高木 聡一郎	A
小原 隆子	長崎大学 大学院*	横山 彰/岸 真清	D
川村 哲章	国士舘大学	瀬野 隆/永富 隆司	A
黒岩 直	国士舘大学	瀬野 隆/永富 隆司	A
石山 健一	国士舘大学	瀬野 隆/永富 隆司	A
三輪 晋也	国士舘大学	瀬野 隆/永富 隆司	A
藤本 公明	国士舘大学	瀬野 隆/永富 隆司	A
谷合 高行	国士舘大学 大学院*	瀬野 隆/永富 隆司	A
石田 厚志	山口大学 大学院*	塚田 広人/仲間 瑞樹	D
查 蕾	桃山学院大学 大学院*	竹歳 一紀/井田 憲計	C
岡 美千瑠	東京大学 大学院*	田中 秀幸/高木 聡一郎	A
中島 幸介	長崎大学 大学院*	宍倉 学/村田 省三	D
八木 尚志	明治大学	武田 巧/中村 文隆	A
松尾 美樹	九州国際大学	今泉 博国/宮本 昌典	D
岡谷 良二	愛知学院大学	酒井 邦雄/吉田 雅彦	B
王 羽萍	愛知学院大学	酒井 邦雄/吉田 雅彦	B
白 乙拉	愛知学院大学	酒井 邦雄/吉田 雅彦	B

(以上 33 名)

(3) 2013年度決算書の件 その1

日本経済政策学会 2013年度 決算書 (2013年4月1日-2014年3月31日)

収入			支出		
摘要	2013年度予算	2013年度決算	摘要	2013年度予算	2013年度決算
前年度繰越金	6,298,907	6,298,907	大会費	2,100,000	2,100,000
学会誌回転基金	0	0	国際会議費	1,500,000	1,500,000
新規事業積立金	0	0	部会費	540,000	540,000
予備費	6,298,907	6,298,907	関東部会	150,000	150,000
会費	10,100,000	9,667,103	中部部会	120,000	120,000
個人	10,000,000	9,567,103	関西部会	150,000	150,000
団体	100,000	100,000	西日本部会	120,000	120,000
賛助	0	0	委員会費	420,000	100,000
利息等	1,000	701	組織委員会	50,000	0
全国大会剰余金(2013年度分)	0	20,771	国際交流委員会	50,000	50,000
国際会議剰余金(2013年度分)	0	44,359	出版編集委員会	120,000	0
学会運営企画委員会剰余金(2013年度)	0	100,000	学会運営企画委員会	100,000	0
大学からの補助金	0	0	大会プログラム研究・開発委員会	50,000	50,000
過年度繰収入	0	0	情報委員会	50,000	0
			学会誌刊行費(10-1)	1,750,000	1,773,970
			学会誌刊行費(10-2)	1,750,000	1,805,860
			学会誌刊行費(11-1)	1,750,000	0
			学会連合分担金	35,000	35,000
			本部事務費	3,000,000	2,568,259
			事務諸費(名古屋)	500,000	478,044
			通信費(名古屋)		147,710
			会議費(名古屋)		266,262
			事務諸費(青山)	1,000,000	836,629
			印刷費(青山)	300,000	73,900
			通信費(青山)	250,000	138,920
			会議費(青山)	800,000	574,904
			学会賞諸費	150,000	51,890
			その他(JEPS校正料・国際会議講演謝金)	0	0
			名簿・選挙積立金(2013年度分)	800,000	600,000
			国際会議剰余金(2012年度分)繰入	62,488	0
			小計	13,507,488	11,023,089
			次年度繰越金	2,892,419	5,108,752
			学会誌回転基金	0	1,750,000
			新規事業積立金	0	300,000
			予備費	2,892,419	3,058,752
総計	16,399,907	16,131,841	総計	16,399,907	16,131,841

2014年度繰越未払残高は、下記4つの預貯金口座の2014年3月31日時点残高の合計と一致しております。

SMBC一般金計口座	320,972
SMBC学会入金用口座	134
郵貯学会普通口座	2,589,746
郵貯定期口座	2,098,000
郵貯学会入金用当座	100,000
合計	5,108,752

繰越金と口座残高

決算書次年度繰越金	5,108,752
2014年3月31日預金口座残高	5,108,752

上記相違ないことを確認いたしました。

2014年5月3日

会計監事

永合位行

安田信之助



2013 年度決算書の件 その2

国際会議基金 2013年度決算報告書(2013年4月1日-2014年3月31日)

収入		支出	
2012年度繰越金	788,949	国際会議費	1,500,000
一般会計より入金	1,500,000	2013年度繰越金	789,077
利息	128		
合計	2,289,077		2,289,077

繰越金と口座残高

決算報告書次年度繰越金	789,077
SMBC国際会議基金用口座残高	789,077

上記相違ないことを確認いたしました。

2014年5月3日

会計監事 永合 位行

安田信之助



選挙名簿積立基金 2013年度決算報告書

収入		支出	
2012年度繰越金	975,873	印刷費	672,000
2013年度分名簿選挙積立金	600,000	通信費	211,290
利息	132	振込手数料(2件)	840
		名簿作成事務謝金	90,200
		2013年度繰越金	601,675
合計	1,576,005		1,576,005

繰越金と口座残高

決算報告書次年度繰越金	601,675
SMBC選挙名簿積立基金用口座	601,675

上記相違ないことを確認いたしました。

2014年5月3日

会計監事 永合 位行

安田信之助



(4) 2014年度予算書の件

日本経済政策学会 2014年度 予算案 (2014年4月1日-2015年3月31日)

収入			支出		
摘要	2013年度決算	2014年度予算	摘要	2013年度決算	2014年度予算
前年度繰越金	6,298,907	5,108,752	大会費	2,100,000	2,100,000
学会誌回転基金(11-1)	0	1,750,000	国際会議費	1,500,000	1,500,000
新規事業積立金(HP更新費)	0	300,000	部会費	540,000	540,000
予備費	6,298,907	3,058,752	関東部会	150,000	150,000
会費	9,667,103	9,600,000	中部部会	120,000	120,000
個人	9,567,103	9,500,000	関西部会	150,000	150,000
団体	100,000	100,000	西日本部会	120,000	120,000
賛助	0	0	委員会費	100,000	370,000
利息等	701	500	組織委員会	0	50,000
全国大会剰余金(2013年度分)	20,771	0	国際交流委員会	50,000	50,000
国際会議剰余金(2013年度分)	44,359	0	出版編集委員会	0	120,000
学会運営企画委員会剰余金(2013年度)	100,000	0	学会運営企画委員会	0	50,000
大学からの補助金	0	0	大会プログラム研究・開発委員会	50,000	50,000
過年度雑収入	0	0	情報委員会	0	50,000
			学会誌刊行費(10-1)	1,773,970	-
			学会誌刊行費(10-2)	1,805,860	-
			学会誌刊行費(11-1)	0	1,750,000
			学会誌刊行費(11-2)	-	1,750,000
			学会誌刊行費(12-1)	-	1,750,000
			学会連合分担金	35,000	35,000
			本部事務費	2,568,259	2,300,000
			事務諸費	1,728,645	1,000,000
			印刷費	73,900	100,000
			通信費	138,920	200,000
			会議費	574,904	600,000
			学会賞諸費	51,890	0
			IJEPS校正料	0	100,000
			その他(HP更新費)	-	300,000
			名簿・選挙積立金(2014年度分)	600,000	600,000
			国際会議剰余金(2012年度分)組入	0	62,488
			国際会議剰余金(2013年度分)組入	0	44,359
			小計	11,023,089	12,801,847
			次年度繰越金	5,108,752	1,907,405
			学会誌回転基金	0	0
			新規事業積立金	0	0
			予備費	5,108,752	1,907,405
総計	16,131,841	14,709,252	総計	16,131,841	14,709,252

基礎的収入 9,600,000

基礎的支出 10,751,847

(5) 名誉会員の推薦の件

今年度は該当者なし。

(6) 全国大会・国際会議の件

(6-1) 今年度全国大会 2014年度 第71回 全国大会 神戸大学

(6-2) 来年度全国大会 2015年度 第72回 全国大会 国士舘大学

開催日：2015年5月30日(土)・31日(日)

会場：国士舘大学 世田谷キャンパス

交通：小田急線梅が丘駅下車、徒歩9分

東急世田谷線松陰神社または世田谷駅下車徒歩6分

渋谷駅南口バス乗場18番「世田谷区民会館行」バスで 終点下車、徒歩1分

設備：中央図書館多目的ホール(528名収容・1日目共通論題)

教室 7室(各210名収容・2日目)

スカイラウンジ(休憩所)

懇親会：学生食堂

テーマ(案)：「現代の経済政策学と社会的公正」

運営委員会：大会運営委員長 永富隆司

(文責：永富隆司)

(6-3) 今年度国際会議 2014年度 第13回国際会議 明治大学

開催日：2014年11月8日(土)～9日(日)

会場：明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー

11月8日：12F全フロアー(教室4、ゼミ教室4)

11F1教室、14F4教室、16F1教室

6F1063教室(250名収容)

23Fホール(banquet用)

11月9日：11F、12F全フロアー

2F1021教室あるいは1022教室(300名収容)

プログラム・セッション構成：

メインテーマ： Policy Evaluation and Economic Theory: How Can We Measure the Effects of Policy Changes?

全体会議のテーマ1： The Macroeconomic Effects of Consumption Tax Increase and other Abenomics Policies

全体会議のテーマ2： The Policy Effects of TPP agreements

HP の開設 : <http://www.kisc.meiji.ac.jp/~jepa2014/>

Call-for-papers の作成・公表

参加費 : 参加登録料 7,000 円、懇親会費 3,000 円

(早期登録割引 1,000 円、会員割引 1,000 円 院生割引 1,000 円、併用割引可、登録期限後に依頼する討論者や座長には、早期割引を適用)

※ 院生の方は当日の受付の際、学生証 (または在学証明書) をご提示下さい。

大学への補助申請

学会助成 : 昨年 10 月に申請、承認済み

補助内容 : 会場費の免除、参加実数(名簿事後提出)×500 円の補助(上限 10 万円)

国際会議・シンポジウム助成 : 本年 5 月に申請、決定は 6 月

補助内容 : 海外有識者の招聘、2 名で 30 万円 (上限 30 万円) を申請

(文責 : 千田亮吉)

(7) 2013 年度学会賞の件

選考結果 学術賞 : 該当なし

奨励賞 : 該当なし

(8) その他

部会幹事・新任追加

関西部会 水野 倫理 (神戸大学)

理事・交替

中部部会 水谷 重秋 (南山大学) → 山田 正次 (南山大学)

理事・退任 (補充なし・名簿から削除)

関東部会 岡崎 哲郎 (千葉商科大学) → 拓殖大学へ異動のため

中部部会 加藤 秀弥 (名古屋経済大学) → 龍谷大学へ異動のため

II 本部事務局からのお知らせ

●連絡先の変更について

住所、所属機関、またメールアドレス等に変更がありましたら、会費納入用払込用紙の通信欄にその旨を記載していただくか、直接本部事務局までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

●学会費納入のお願い

2013 年度学会費につきましてまだご入金がお済みでない方は、ご入金いただけますようお願い申し上げます。また、2014 年度以前の会費につきまして、まだご入金がお済みでない場合は、あわせてご入金いただけますようお願い申し上げます。なお、会費納入状況につきましてのお問い合わせは本部事務局までお願いいたします。

日本経済政策学会本部・部会事務局連絡先

本部事務局

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25
青山学院大学経済学部中村研究室
TEL/FAX: 03-3409-9545
E-mail: jepa-hq@econ.aoyama.ac.jp
Home Page <http://www.jepa-hq.com/indexj.html>

関東部会事務局

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1
早稲田大学政治経済学術院 気付 (松本 保美)
Tel/Fax 03-5286-1206 (松本研究室)
E-mail kanto@jepa-hq.com
Home Page <http://www.jepa-hq.com/kantobukai.htm>

中部部会事務局

〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町 1-25
名古屋学院大学経済学部 気付 (小林 甲一)
Tel 052-678-4078 [dial in]2825 (小林研究室)
E-mail kobayasi@ngu.ac.jp
Home Page <http://www.soec.nagoya-u.ac.jp/jepa/>

関西部会事務局

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1
神戸大学大学院経済学研究科 気付 (柳川 隆)
Tel/Fax 078-803-6813 (柳川研究室)
E-mail yanagawa@econ.kobe-u.ac.jp
Home Page <http://www.econ.kobe-u.ac.jp/jepa-kansai/>

西日本部会事務局

〒814-0180 福岡市城南区七隈 8-19-1
福岡大学経済学部 気付 (宮本 昌典)
Tel 092-871-6631 ex. 4223 (宮本研究室)
Fax 092-864-2904 (経済学部事務室)
E-mail masanori@fukuoka-u.ac.jp
Home Page <http://www.kyusan-u.ac.jp/J/jepa/>